



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月10日

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3154 URL <https://www.medius.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池谷 保彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 芥川 浩之 (TEL) 03-6811-2958
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	177,528	4.5	2,386	△28.1	2,777	△24.4	1,796	△29.4
2022年6月期第3四半期	169,933	7.2	3,320	12.9	3,675	10.5	2,543	16.8

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 1,510百万円(△32.5%) 2022年6月期第3四半期 2,237百万円(1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	81.92	81.67
2022年6月期第3四半期	116.21	116.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	105,835	18,401	17.4
2022年6月期	92,953	17,307	18.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 18,401百万円 2022年6月期 17,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2023年6月期	—	0.00	—		
2023年6月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	230,000	3.7	1,300	△42.7	1,750	△36.5	1,100	△41.1
								50.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年6月期3Q	21,925,104株	2022年6月期	21,925,104株
2023年6月期3Q	958株	2022年6月期	958株
2023年6月期3Q	21,924,146株	2022年6月期3Q	21,889,065株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症による医療機関への影響は軽減され、医療需要も回復しつつある一方、ウクライナ情勢による資源価格の高騰や為替変動による物価上昇等の影響に起因するコスト増加も懸念され、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、持続可能な医療体制構築に向けて、製品の安定供給並びに顧客の課題解決に取り組むことを方針として事業活動を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発令されていた期間を含む前年同四半期と比較して、手術症例数が増加したこと及び新規施設における販売により手術室関連製品等の販売が好調に推移いたしました。加えて、PPE(個人用防護具)等の感染対策に関わる製品の販売も好調を維持いたしました。また、前期に受託したSPDにおける販売も医療機器販売事業の増収に貢献しております。売上総利益においては、ウクライナ情勢や円安の影響を受け、売上原価が増加したものの、営業活動強化に伴う収益改善や増収に伴い拡大しております。

他方、販売費及び一般管理費については、主要子会社における事業規模拡大に伴う人員採用や営業拠点の開設、移転があったこと、販売拡大による物流委託費用の増加に加え、感染対策を念頭に置きながらも営業活動等を活発化させたこと及び、前期に竣工した(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費等が発生していることで前年同四半期と比較して増加しております。なお、特別利益において114百万円を計上しておりますが、主たる要因は投資有価証券の売却益であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は177,528百万円(前年同四半期比4.5%増)、営業利益は2,386百万円(同28.1%減)、経常利益は2,777百万円(同24.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,796百万円(同29.4%減)となりました。

(注) SPD

Supply Processing & Distributionの略語で、病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステムのことであります。SPDの運用は、病院との契約により、医療機器販売会社又は専業の会社が行います。当社グループにおきましては、連結子会社である協和医科器械(株)・(株)栗原医療器械店・(株)ミタス・(株)秋田医科器械店・ノアインターナショナル(株)・メディアスソリューション(株)及び持分法非適用の関連会社である(株)エヌエイチエス静岡が行っております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業における消耗品につきましては、新型コロナウイルスの検査に係る試薬は需要の落ち着きに伴い販売が減少したものの、PPE(個人用防護具)の販売は引き続き好調に推移しました。手術関連製品においては、循環器領域を中心に償還価格の改定に伴う販売価格の下落が見られたものの、症例数の回復や新規施設での販売が拡大したことで増収に寄与しております。また、前期に受託したSPDに関する販売や既存顧客におけるシェア拡大もあり、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加しました。備品につきましても、医療機関における設備投資が活発化してきており、放射線機器等の大型備品の販売により好調に推移しました。一方、事業規模拡大に伴うコスト増加や(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費等の発生により、セグメント利益は減益となりました。

この結果、売上高は173,381百万円(前年同四半期比4.5%増)、売上総利益は20,836百万円(同6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、7,548百万円(同4.8%減)となりました。

②介護・福祉事業

介護・福祉事業につきましては、介護機器のレンタル及び消耗品の販売が堅調に推移したことで、前年同四半期と比較して売上高及び売上総利益は増加いたしました。他方、(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費の発生等により販売費及び一般管理費が増加したことで、セグメント利益につきましては減益となりました。

この結果、売上高は4,147百万円(前年同四半期比2.0%増)、売上総利益は1,605百万円(同1.2%増)、セグメント利益(営業利益)は、315百万円(同22.4%減)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業………

国内外の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び介護施設並びに医療機器販売業者、一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から12,881百万円増加し、105,835百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から13,206百万円増加し、84,760百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,904百万円、受取手形及び売掛金が10,572百万円、商品及び製品が642百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末から325百万円減少し、21,074百万円となりました。これは有形固定資産が126百万円増加した一方で、無形固定資産が82百万円、投資その他の資産が369百万円それぞれ減少したことによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から11,787百万円増加し、87,433百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から12,265百万円増加し、79,787百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が9,285百万円、短期借入金が4,018百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が1,240百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末から477百万円減少し、7,645百万円となりました。これは主に長期借入金が439百万円減少したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から1,093百万円増加し、18,401百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,379百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が297百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2023年2月7日に公表しました連結業績予想より変更はありません。

なお、当連結会計年度第4四半期においては、第3四半期における医療機関の設備投資の反動により販売高が他四半期に比して減少することから利益が減少する見込みです。また、第4四半期に計画している備品案件についても半導体不足による納期遅延傾向、為替変動による仕入価格の高騰及びエネルギーの高止まりによる費用増加等の影響は不透明であるものと認識しており、今後の見通しにより連結業績予想に修正が必要と判断される場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,105,819	11,010,731
受取手形及び売掛金	47,134,159	57,706,234
商品及び製品	11,505,256	12,148,001
原材料及び貯蔵品	15,221	12,408
その他	3,884,973	3,977,363
貸倒引当金	△91,522	△94,057
流動資産合計	71,553,906	84,760,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,198,972	6,135,030
機械装置及び運搬具（純額）	965,453	877,461
土地	3,111,833	3,291,308
その他（純額）	712,992	811,897
有形固定資産合計	10,989,251	11,115,697
無形固定資産		
のれん	1,026,131	889,763
その他	1,104,638	1,158,706
無形固定資産合計	2,130,770	2,048,469
投資その他の資産		
その他	8,988,492	7,940,159
貸倒引当金	△708,579	△29,421
投資その他の資産合計	8,279,912	7,910,737
固定資産合計	21,399,934	21,074,905
資産合計	92,953,841	105,835,587

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,363,249	59,648,553
短期借入金	12,328,047	16,346,187
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
未払法人税等	1,673,501	432,904
賞与引当金	40,785	747,774
役員賞与引当金	131,879	45,640
資産除去債務	9,912	9,912
その他	2,967,998	2,549,998
流動負債合計	67,522,374	79,787,970
固定負債		
社債	22,000	18,500
長期借入金	5,459,541	5,019,846
債務保証損失引当金	98,999	95,399
株式報酬引当金	42,327	64,711
退職給付に係る負債	1,323,097	1,428,597
資産除去債務	135,985	136,118
その他	1,041,751	882,776
固定負債合計	8,123,702	7,645,949
負債合計	75,646,076	87,433,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,769	1,344,769
資本剰余金	2,671,008	2,671,008
利益剰余金	11,610,668	12,990,207
自己株式	△450	△450
株主資本合計	15,625,996	17,005,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,744,163	1,446,809
退職給付に係る調整累計額	△62,395	△50,677
その他の包括利益累計額合計	1,681,768	1,396,132
純資産合計	17,307,764	18,401,667
負債純資産合計	92,953,841	105,835,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	169,933,560	177,528,726
売上原価	148,696,130	155,087,048
売上総利益	21,237,429	22,441,678
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△7,390	△15,198
株式報酬引当金繰入額	9,369	24,539
給料及び手当	7,406,411	8,098,260
従業員賞与	1,196,970	1,260,185
賞与引当金繰入額	670,571	745,824
役員賞与引当金繰入額	42,700	45,640
退職給付費用	363,943	410,440
法定福利費	1,429,554	1,561,215
減価償却費	406,838	816,122
賃借料	1,452,494	1,612,499
業務委託費	1,543,525	1,756,539
その他	3,402,134	3,738,669
販売費及び一般管理費合計	17,917,122	20,054,740
営業利益	3,320,307	2,386,938
営業外収益		
受取利息	3,051	1,295
受取配当金	29,017	51,627
仕入割引	243,168	228,928
持分法による投資利益	27,198	-
債務保証損失引当金戻入額	6,619	3,599
その他	104,630	180,304
営業外収益合計	413,686	465,755
営業外費用		
支払利息	50,129	64,758
持分法による投資損失	-	48
その他	8,366	10,588
営業外費用合計	58,495	75,394
経常利益	3,675,498	2,777,299
特別利益		
固定資産売却益	4,177	6,455
投資有価証券売却益	-	108,328
特別利益合計	4,177	114,784
特別損失		
固定資産売却損	-	1,840
固定資産除却損	3,550	2,718
減損損失	39,145	9,916
特別損失合計	42,695	14,475
税金等調整前四半期純利益	3,636,979	2,877,608
法人税、住民税及び事業税	1,345,392	986,806
法人税等調整額	△252,329	94,704
法人税等合計	1,093,063	1,081,510
四半期純利益	2,543,915	1,796,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,543,915	1,796,097

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	2,543,915	1,796,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△319,168	△297,354
退職給付に係る調整額	12,586	11,718
その他の包括利益合計	△306,581	△285,636
四半期包括利益	2,237,334	1,510,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,237,334	1,510,461

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である㈱アクティブメディカルが2022年10月4日付でノアイ
ンターナショナル㈱の全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

なお、同社は2022年10月1日をみなし取得日としております。

当第3四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である㈱栗原医療器械店が2023年2月7日付で新たに設立
した㈱オーソエッジジャパンを連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	165,868,583	4,064,977	169,933,560	—	169,933,560
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	165,868,583	4,064,977	169,933,560	—	169,933,560
セグメント利益	7,926,484	406,445	8,332,930	△5,012,623	3,320,307

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,012,623千円には、セグメント間取引消去14,731千円、のれん償却額△148,775千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,878,579千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器販売事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、39,145千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	173,381,106	4,147,620	177,528,726	—	177,528,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	176	—	176	△176	—
計	173,381,283	4,147,620	177,528,903	△176	177,528,726
セグメント利益	7,548,574	315,407	7,863,982	△5,477,044	2,386,938

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,477,044千円には、セグメント間取引消去63,220千円、のれん償却額△147,646千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,392,618千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器販売事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、9,916千円であります。